

# 腹腔鏡内視鏡

## 合同手術研究会

Laparoscopic Endoscopic Cooperative Surgery

第9回 2014年3月22日

■演題 11	非穿孔式内視鏡的胃壁内反切除術 (Non-exposed endoscopic wall-inversion surgery : NEWS) の経験
--------	--

石川県立中央病院 消化器外科 1, 消化器内科 2

森山秀樹 1, 稲木紀幸 1, 澤田幸一郎 1, 佐藤礼子 1, 奥出輝夫 1, 山本大輔 1, 北村祥貴 1, 小竹優範 1, 黒川勝 1, 伴登宏行 1, 富永桂 2, 辻重継 2, 土山寿志 2, 山田哲司 1

【はじめに】 当院では胃粘膜下腫瘍に対して 2010 年に腹腔鏡内視鏡合同手術（以下 LECS）を導入し 30 例の症例を経験した。近年 LECS の適応拡大を目標に新たな術式が開発されている。当院で施行した非穿孔式内視鏡的胃壁内反切除術（Non-exposed endoscopic wall-inversion surgery : NEWS）の 1 例を報告する。

【症例】 56 歳，男性。胃体部小彎に壁外発育型の粘膜下腫瘍を認めた。腫瘍径は 22.3 × 19mm で開窓生検にて GIST と診断された。LECS の適応と判断し手術を施行した。腹腔鏡下に腫瘍周囲の漿膜筋層を全周切開し，腫瘍を胃内腔へ内反させ，漿膜筋層を連続縫合にて閉鎖した。続いて経口内視鏡にて粘膜切開し腫瘍を経口的に摘出した。再度腹腔鏡下に漿膜筋層縫合を追加し手術を終了した。術後経過良好にて第 8 病日に退院となった。

【考察】 粘膜を穿孔させない漿膜筋層切開，縫合糸を切離しない粘膜切開など留意すべき点はあるが，NEWS は比較的導入しやすい手技であると思われた。